

みんな ずう〜とイッショ!

2015年3月21日発行

VOL. 28

編集・発行/広報委員会

広報委員長/榊原貴倫

電話ファクス 0797-57-9060

(一小宝梅ハウス)

平成26年度まちづくり活動をご紹介します！
まもなく新年度スタート！



「防災学習会」を3回開催

第6回合同防災訓練の実施に先立ち、日頃から防災や減災に関係する一般知識を習得しようと、昨年3回にわたる学習会を宝塚第一小学校視聴覚室で開催しました。

- ・第1回：10月18日「校区内の自然災害と基礎知識」
- ・第2回：11月16日「避難の仕方と避難所での心得」
- ・第3回：12月21日「要援護者の支援」

開催にあたっては市総合防災課のご協力をいただき、地域に関連した身近なテーマとあって延べ130の方が受講され、質疑応答も活発に行われて有意義な学習会となりました。



もちつき大会で地域に6年間の感謝

阪神淡路大震災を契機に始まったもちつき大会でしたが、その後は6年生の卒業行事と変わり2月25日10時30分より「第9回ずっといっしょ（一小）もちつき大会」が開催されました。

常日頃から通学の安全と成長を見守っていただいた地域の皆様へ、6年生198人全員が感謝の気持ちを込めてお餅をつき、お餅をこねて、注文を聞き、お餅をテーブルまでお届けする「おもてなし」をして、最後に歌のプレゼントをしました。

体育館は地域から集まった360人余りの人で一杯になり、みんなで6年生の卒業をお祝いしました。



第6回 合同防災訓練を実施

一小校区まちづくり協議会主催の第6回合同防災訓練を1月17日10時より宝塚第一小学校で開催しました。この防災訓練は、最終避難所となる宝塚第一小学校までの避難経路の安全確認と、併せて自治会やマンション管理組合では会場の広さや人的パワーの面から、容易には実施できない防災訓練をまち協と合同で行うことで、より規模の大きい、より多くの訓練メニューを体験するものです。220名の参加者は、受付で避難者カードの記入を済ませると5班に分かれて、「車いす」「煙道通過」「土嚢積み」「消火器操作」「AED救命」、今回新たに加えた「ジャッキ救出」「三角巾」訓練を、順番に体験して回りました。また避難所での精神ケア面から「ハンドマッサージ」を取り入れ、多くの参加者がマッサージに癒されました。

最後に、炊き出し訓練として豚汁とアルファ化米を参加者全員で試食し、寒さと空腹感を癒していました。

当訓練の実施にあたっては、多方面の多くの方のご理解とご協力をいただき心より感謝するとともに、また来年の第7回も盛況となりますよう、よろしくお願いいたします。

(写真右はジャッキ救出、写真下はハンドマッサージ)



安全部会

4年生児童の「防災訓練」を実施

1月19日、宝塚第一小学校で児童向けの防災訓練を実施しました。午前9時10分校内放送の号令を合図に全校児童がグラウンドに避難し、校長先生のお話の後4年生児童151人を対象に保護者も加わり総勢200人が「通報訓練」や「煙道通過」「心肺蘇生」「非常時持出袋作り」「阪神淡路大震災DVD鑑賞」の各訓練を体験しました。

東日本大震災で多くの人命を救った『釜石の奇跡』は子どもたちの日頃の訓練によるものでした。「まずは命を守る」ために児童にもできることを主眼に、学校、育友会、西消防署の皆さんと考えた訓練であり、児童には心に残る大事な経験になったと思います。



福祉部会

地域福祉ネットワーク会議を開催

昨年10月26日「校区の防災について福祉の視点から考えてみよう」というテーマでネットワーク会議を行いました。自治会、マンション管理組合、老人会、民生児童委員、ふれあいサロンの代表者、社会福祉協議会、逆瀬川地域包括支援センター、市危機管理総合防災課の皆さんが参加され、グループワークでそれぞれが考える災害時における自助、共助、公助について活発な意見交換をしました。

市総合防災課の江崎課長からは「災害時要援護者支援制度」に関して地域からの手上げ方式、要支援者名簿の作成などの概要も聞くことが出来ました。また逆瀬川地域包括支援センターの小西所長からは支援の必要な高齢者について検討している状況をお聞きしました。

「地域の安全は自らの手で！」

今後も安全で安心して暮らせるまちづくりのために皆さまと一緒に活動していきたいと思います。また、「夏休み世代間ふれあい工作教室」「ふれあいサロン交流会」も継続して取り組んでいきます。



環境部会

寄せ植えはハンギングバスケット

毎年恒例となった寄せ植え講習会を、昨年11月13日10時から南口会館で開催しました。

今回はハンギングバスケットを題材とし、お花やバスケットなど材料代込みで700円の案内をすると、数日も経たずに定員40名の枠が埋まる人気ぶりでした。

今年は開催時間を午前に変更したこともあり、若い方の参加も増えて年配者との交流も深まり、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

地域の塀や壁に飾られたお花の寄せ植えを見かけたら、もしかするとこの講習会で学んだ作品かも知れませんね。



地域交流部会

昨年11月24日、一小体育館にて地域交流部会主催ドッジボール大会が行われ、約40名がプレーに声援に汗を流しました。

前年度同様、公式審判員の方々をお招きして本格的なルールや試合形式を導入して行い、高校生男子の圧倒的なパワーや大人も顔負けの小学生の速球、普段は球技とは縁の薄い中高年層のハッスルプレーが印象に残る和やかな一日でした。

当日、盛り上げていただきました出場者ならびに関係者の皆様方には心より感謝申し上げます。



子育て部会

「栗木 剛」講師の講演会開く

子育て部会では、地域交流部会と合同で2月15日14時よりサンピオラ3階国際・文化センターにおいて30名の参加者を前に、「見なおそう！地域のコミュニケーションカ 『楽しくなくっちゃ講演会じゃない！』」のタイトルで、栗木剛講師による2時間の講演会を開催しました。

栗木氏は、兵庫県全域はもとより県外でも広く活躍されており、話術の面白さで大変人気のある講師です。

同氏が専業主夫になったことを契機に、軽い気持ちで引き受けた幼稚園、小学校、等々の「育児活動」の父兄代表に押し上げられ、現在の青少年育成、福祉、地域づくりなど、幅広くボランティア活動に関わるようになった経緯が漫談調で語られ、笑いの絶えない講演会となりました。

「地域活動はムリせず身の丈で！」だそうです。



地域の情報板

紅葉ガ丘自治会で「避難訓練」

甲子園大学の学生ホールが地域の一時避難所となったことを受けて、昨年11月29日10時より、紅葉ガ丘自治会では徒歩による避難訓練を初めて行いました。

5つの集合場所からそれぞれが出発し、大学に至る避難経路の安全性と避難所を確認する訓練でした。

赤ちゃんを連れたご夫婦や杖を持たれたお年寄りなど、30名が大学食堂内にあるコミュニティーサロンに集合し、20種類以上ある防災食を試食しました。

また昭和58年紅葉ガ丘を襲った土石流を体験された人や40数年住んでこられた人のお話が聞かれて、参加された皆さんの交流も進み、有意義な時間となりました。



地域の情報板

武庫山自治会の餅つき大会

武庫山自治会では、昨年12月13日に年末恒例の餅つき大会を武庫山ふれあい公園で実施しました。

幼児から大人まで総勢163名の参加のもと、あん餅やきな粉餅、雑煮など、おいしいお餅料理の数々を頂き、住民の皆様の絆を深める良い機会となりました。

子供会でも10人勝ち残りの「じゃんけん大会」を開き、子供たちの歓声で大いに盛り上げてくれました。



寿楽荘自治会で「秋の催し」

寿楽荘自治会は、会員の交流と健康管理を目的に、昨年11月3日10時から14時の間、宝塚第一小学校視聴覚室において自治会初めての「秋の催し」を開催しました。

展示コーナーでは寿楽荘の自然をテーマとした写真や陶芸、ガラスアートなどに18名から出展がありました。

また市健康センターの協力を得て骨密度測定を行い、事前の申込みを上回る37名が受診しました。骨の強化と転倒予防を目的としたヨーガ療法士による健康体操もあり、小学生から80代まで延べ60名が寄り集まって、寿楽荘の良さをあらためて認識する催しとなりました。



